

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	子育て・教育なんでも相談ネットワーク
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	
提案事業の名称	「しんどい先生」支援プロジェクト	
提案事業の目的	<p>超多忙化が進む教育現場で、多様な生徒たちや困難な家庭への対応など過酷な環境で多くの先生たちは毎日悪戦苦闘している。</p> <p>教科指導・クラス経営などで行き詰まったときなど、相談や悩みを打ち明けようと思っても同僚や先輩教師たちも同じように忙しくそれどころではない現実がある。そのために教師同士の意思疎通が困難になっている場合が多いので、早期に相談し改善していくことは重要である。</p> <p>公的な相談機関や同僚の先生には相談しにくい問題も存在すると考えられる。「しがらみ」のない民間の相談機関だからこそ「心を開きやすい」場合もあるのではないかと。特に、「弱み」を見せられず「体面」を気にしなければならない立場であったりすると既存の機関への相談は躊躇するのではなかろうか。</p> <p>一線を退いてはいるが30数年以上の教師経験を積み、人生経験ではその倍。そんな私たちがはかしていきたくて悩みの相談や打開策の支援活動を行い、先生たちが再び明るく元気に教師としての仕事に力を尽くし「豊かな学び」を実現できるよう支援していきたいと考えている。</p>	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<p>1. 解決する課題</p> <p>学力向上、不登校児童数の減少、問題行動の克服など教育現場での先生方に向けられた期待は大変大きいものがある中、先生たちの悩みや行き詰まり感は予想をはるかに超えており、現実からの逃避や心を病むなど、追い詰められ自己否定する先生たちも存在している。また、教師や保護者たちとの関係をうまくコントロールできずに思い悩んでいる先生たちも存在している。そのような中で相談活動で早期に改善をはかることは緊急かつ重要なことだと考えている。先生本人にとっても行政にとっても。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>現在の学校に課せられた課題はどれもこれも排除できないものであり、乗り越えねばならない重要な課題だ。多くの保護者たちも、学校に期待を寄せ、先生たちのがんばりを応援し支援しており、元気でがんばっている先生と輝いているわが子の姿をみて安心し応援するのだ。</p>	

	<p>3. 課題解決の方策</p> <p>先生たちのニーズ（相談内容や日時・場所）に合わせ、私たちが「出前相談」を行う。</p> <p>「取り組み案内」を全教職員に配布し、電話で「出前相談」を受けつけ相談活動を行う。（出向くこともあれば、電話での対応もあるだろう）</p> <p>管理職や同僚の先生などからのアドバイスによる「出前相談」も受けつける。同じように出向くこともあれば、電話での対応も行う。</p> <p>勤務時間外も相談窓口を設ける。</p> <p>メールでの相談も受けつける。</p>
<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果</p> <p>教育現場には行政からサポート体制がしかれ、一見充実しているかのようにみえるが、現実はずっと多くの窓口を必要としている。</p> <p>教師も人の子、好き嫌いもあれば生活サイクルもいろいろとある。教育機関・関係者（市の相談センターなど）には相談しづらい人も多くいるはず。相談できずに、また相談をためらっている間にことは大きくなり傷口は広がり、ますます解決しにくくなってしまふ。</p> <p>「いつでも、どこでも、だれでも」悩みを相談でき、どこにも情報を漏らさず秘密を守る民間の相談所が求められている。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <p>先生たちのニーズに合わせた「出前相談」活動で、問題解決をはかる。</p> <p>特に教育機関・関係者（市の相談センターなど）には相談しづらい事柄には「相談そのもの」も秘密扱いし、心の支えとなり解決の方向への支援を行う。</p> <p>3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割</p> <p>市内小・中学校の先生たちに「取り組み案内」を配布し周知していただく。</p> <p>問題解決のお力添えをお願いしたい。</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <p>先生たちにとって確実に相談窓口が増えることは事実だが、特に「相談できずに、また相談をためらっていた」先生の活用の一助としたい。</p>

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	「しんどい先生」支援プロジェクト
-------	------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	30,000	
	合同提案団 体負担金等		
自己資金等合計(a)		30,000	
事業 収入 見込	学習会資料代金：1,000円	1,000×50=50,000	
事業収入見込合計(b)		50,000	
岡山市補助金申請額(c)		191,000	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		271,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	相談員経費(相談・交通費など)	122,500	相談回数(5/月×7ヶ月=35件) 1回の相談で3,500円支出
	印刷製本費①	83,000	取り組み案内チラシ (名刺サイズ19円×4,000)
	印刷製本費②	10,000	学習会案内
	印刷製本費③	30,000	学習会資料代
	使用料 電話代金	15,000 10,500	学習会会場費 転送電話(1,500円×7)
事業実施経費合計(d)		271,000	
管理 運営 経費			
管理運営費合計(e)			
総事業費(f)=(d)+(e)		271,000	※収入合計(c)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること